

えこっち・やす 環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」 ニュースレター 第34号

令和元年9月発行
えこっち・やす事務局
(野洲市役所 環境課内)

暑い日が続いておりますが、みなさまお元気ですか？
本紙では、春～夏にかけて行われたえこっち・やすの活動をご紹介します。
元号が令和に変わってから初のニュースレターぜひ拝読ください♪

Walatte にて活動が紹介されました！

「童子川・家棟川・中の池川にビワマスプロジェクト」、「山部会」が地域雑誌 Walatte vol.27、vol.28 にて紹介されました！

活動のやりがいや活動への想いをインタビュー形式で取上げていただくとともに活動の様子を収めた写真を掲載していただきました。

さらに、Walatte Vol.29 では「ごみを減らそうプロジェクト」が掲載される予定です♪



<Walatte とは？>

エールコーポレーション株式会社から発行されている大津市・草津市・栗東市・守山市の協力店舗や公共施設などを中心に設置されているフリーマガジンです。主な内容としては地域で活動している団体などの活動を紹介されています。

平成 31 年度総会

平成 31 年 4 月 24 日（水）に野洲クリーンセンター 2 階研修室にて、平成 31 年度の通常総会を開催し、前年度の取り組み報告や本年度の予算案が審議され、すべて承認されました。

議案終了後には、川部会「ビワマスがのぼる川」山部会「山の守りてふやし隊」というテーマで活動内容や活動における魅力を出席者に報告いただきました。





まちなかの緑づくりプロジェクト

タケノコ採りイベント

やす環境フェスタ 2019



楽しく学べる環境イベントが、5月19日(日)野洲クリーンセンターで開催されました。えこっち・やすでは山部会とエコ資源部会が各講座を実施しました。山部会はクラフト作り体験を行い、子ども達がギターやてんとう虫などを楽しく作っていました。また、エコ資源部会はリサイクルペーパーアートの講座で虹や宇宙人など思い思いの作品作りをしていました。出前講座の他にも食器類や家具類のリユースも行いました。



6月8日(土) 参加者 65名

野洲川北流跡自然の森で小学生と保護者を対象に、タケノコ採り体験と焼きタケノコの試食を行いました。参加者47名、スタッフ18名、合計65名での開催となりました。例年活気があるイベントで、今年は気候の影響もあり昨年度より小ぶりなタケノコとなりましたが、参加者の皆さんは楽しくタケノコの収穫をしていただくことができました。

食器類限定のリユース会



6月29日(土) 参加者 13名

令和初の台風は無事に通過したものの蒸し暑さが強く感じられるなか、コミセンみかみ 大ホールにて食器類限定のリユース会を開催しました。

来場される皆さんに品物がいきわたるように、一人20点までの譲渡数の制限を設けましたが、13名の来場者により、お皿やガラスコップなど合計204点の食器類をリユースすることができました。

持ち帰りに必要なエコバックや梱包材なども来場の皆さんが持参され、環境にやさしいエコなリユース会となりました。

ごみの資源化 プロジェクト

いろいろがみ

色紙とかして絵を作ろう

～リサイクルペーパーアート～



7月21日(日) 参加者 7名

古紙を利用して作るリサイクルペーパーアートの講座をコミセンみかみ研修室にて開催しました。

作品づくりを通して雑がみ回収の啓発や紙の再利用について学ぶ機会を提供しました。

食品ロス削減を啓発する寸劇の作成

ごみを減らそうプロジェクトでは食品ロス(※)削減を啓発するため、2018(平成30)年度より寸劇を作成しています。昨年度に台本を作成し、今年度は寸劇に使用する道具類の作成や配役を決め、2020年度のお披露目に向け準備を進めています。

みなさんお楽しみに！



ごみ減量プロジェクト

(※) <食品ロスってなに？>

食品ロスとはまだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。平成28年度においては約643万トンの食品ロスがあったと推計されています。(農林水産省HPより)

<滋賀県や野洲市ではどんなことをしているの？>

滋賀県では近江米100%の三角おにぎりの妖精「よっしーくん」をアイコンに食品ロス削減を呼びかけています。

野洲市では広報・ホームページで「30・10(さんまる・いちまる)運動」の呼びかけなどを行っています。

みんなが親しむきれいな川づくりプロジェクト

ピワマスプロジェクト全体会議

8月2日(金) 参加者25名

令和元年度の活動内容について、産卵床造成の方針や魚道構造の改良案についての協議を行いました。様々な意見がでましたが、ピワマスの議題のほか、川の草木の繁茂やごみの問題、自然の川のあり方などピワマスから河川環境の話題に派生したことは、この取り組みが正常進化していることが感じ取れた会議となりました。



里山を守り育てるプロジェクト

春のタムシバ山花登山

4月6日(土)
参加者40名

一般参加19名
山部会員21名、
合計40名でにぎやかに山を登りました。子ども達も元気に山登りを楽しんでいました。



今回はタムシバの花だけでなく、桜、ミツバツツジ、アジビも咲いており百花繚乱という言葉がぴったりの花々に囲まれた登山となりました。

妙光寺古墳群と 遺跡見学 (森づくり塾)

6月9日(日)
参加者25名

文化財保護課の進藤武氏を講師として迎え、一般参加11名、山部会員14名、講師1名の合計26名で実施しました。今回、参加者最高齢の88歳男性も見事に踏破されました。

出世不動ではお掃除をされていた修行者ご夫妻が出発時ほら貝を吹いて道中の無事を祈ってくださいました。



びわ湖を守ろうプロジェクト

びわ湖環境学習会～ヨシ苗ポットづくり体験～

7月2日（火） 参加者 133名

中主小学校4年生を対象に、びわ湖について学ぶ環境学習会を実施しました。この学習会では、びわ湖を通して昔と今のくらしでどう変わったか、びわ湖に棲む魚はどのような種類がいるのか、ヨシとはどのような植物でどのような働きがあるのかなど話を聞いて勉強しました。その後、ヨシ苗ポットづくりを体験し、ヨシの植え方を聞きポットに土とヨシの苗、肥料を入れ、小学校の中庭にある池で育てます。そして秋にはあやめ浜へ植栽する予定をしています。



事務局

緑のカーテン



事務局の市環境課では、ゴーヤの種を育て、その苗を公共施設に配布しています。また、市役所別館では「よしず」を設置し、直射日光を避け室温上昇を抑制しています。今年6月末～7月中旬にかけて、九州地方を中心に大雨が降るなどお天気が例年と違うこともあり、配布したゴーヤの育ちが心配でしたが、無事花を咲かせ育ってくれています。

- ・会費は「えこっち・やす」を運営するための費用の一部に充てます。
- ・会員にはイベントなどの取り組み状況をまとめたニュースレターをお送りします。

☞詳しくは下記へ

**えこっち・やす
会員募集！**

◆◆ 年会費 ◆◆

個人：500円

団体：1,000円

事業者：2,000円

事務局（野洲市環境課）TEL077-587-6003/FAX 077-587-3834
E-mail kankyuu@city.yasu.lg.jp まで

